

近畿建設リサイクル表彰	会 長 賞
受 賞 者	株式会社 川嶋建設 古民家蘇生工事
所 在 地	兵庫県 豊岡市
受 賞 テ ー マ	古民家蘇生工事により建設廃材（木材）の発生抑制・搬出抑制

【取組概要】

古民家の良質部材を有効活用することを基本とし、特に、痛んだ箇所のみを新材と置き換える伝統工法を用い、平成8年（1996年）から古民家の蘇生に取り組み、建設廃材の発生抑制・搬出抑制（577m³（約50%））を推進しています。

① 古民家蘇生の取り組み

今後十分に耐えられる良質部材（特に柱や梁などの骨組）を残し、部分的に痛んだ箇所は、伝統工法で継ぎ、修復しています。また、耐久年数の長い瓦、土壁、建具等も使える箇所は極力再利用しています。



(修復前)



(修復後)

伝統工法による
修復箇所
(根継ぎ)

平成8年から47棟の古民家を蘇生（現地蘇生、移築蘇生）しており、合計577m³（約50%）の建設発生木材の搬出を抑制しました。

【評価】

古民家の良質部材を有効活用することを基本とし、特に、痛んだ箇所のみを新材と置き換える伝統工法を用い、平成8年から足かけ23年にわたり、近畿地域で古民家の蘇生に取り組み、建設廃材の発生抑制・搬出抑制を推進していることが優れた取組として評価できる。